



皆様のおかげをもちまして、今年も下記により定期総会と記念シンポジウムを開催いたします。

いま、障害者を含む社会的な困難・排除を受けている人々の地域・職場への参加に当たり、「多様な就労」をどう進めるかが、重要な課題となっています。課題となる「多様な就労」とは、地域・職場で分け隔てることの固定化ではなく、共に生きる地域・職場への欠かせない一歩です。その意味では、当会の背骨というべき「職場参加」の中身とまさに重なってきます。

2014年度は、当法人設立から丸10年、越谷市障害者就労支援センター受託から10年目にあたります。

あらためて、当法人の越し方・行く末を見渡し、地域・全国の活動と連携し、とりわけ自治体との協働の積み重ねを踏まえて、しっかりと一歩を進める契機として、定期総会と記念シンポジウムを開催します。

大変お忙しいなかと存じ上げますが、是非ともご来会賜りたく、謹んでご案内かたがたお願い申し上げます。

#### 記

1. 名称 : NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会 2014年度定期総会  
記念シンポジウム「障害者の職場参加（多様な就労）と自治体—いま地域では」
2. 日時 : 2014年4月26日（土）  
定期総会 13:00～13:50 （12:30 受付開始）  
2013年度事業報告・収支決算報告  
2014年度事業計画案・収支予算案  
2014年度役員選出  
記念シンポジウム 14:00～16:40 （13:50 受付開始）
3. 会場 : 越谷市中央市民会館 4階第 16～18 会議室 （越谷市越ヶ谷 4-1-1）
4. 会費等 : シンポジウム会費 700 円（資料代含む、会員は 500 円）  
手話通訳予定
5. 問合せ : 職場参加ビューロー世一緒 048-964-1819（Fax 共）  
shokuba@deluxe.ocn.ne.jp
6. 後援 : 越谷市、春日部市（依頼中）





### 地域適応・公開報告会が行われました

2月18日、施設や院内デイ・ケアの利用者や在宅の障害者が、市役所等公共機関や民間事業所で、施設職員等の支援付きで職場実習する越谷市障害者地域適応支援事業の公開報告会が行われました。世一緒から参加した山崎有子さん(写真前左)は、山崎泰子さん(中央)の支援で、市総務課管理課の駐車券の整理作業を行い、就労支援センター・沖山所長(右)から修了証を授与しました。全体では、15施設、29名が実習し、受け入れ職場は34ヶ所でした。

2月26日、草加市・田中市長(写真・右)に今年度の「自治体への提言」を手渡し、懇談しました。当会運営委員で、草加市内でパン工房や公共施設内売店を運営する障害者自立センター・めだか職員でもある原さん(右から二人目)は、施設に足を置きながら週1日でも地域の職場で働けるように応援してほしいと伝えました。市長からは、チャレンジオフィスちばの視察を職員にさせるなど語られました。写真左は同席していただいた関市議。その右・山下事務局長、日吉運営委員。

⑧ 何が言いたいのかといえば、特に言いたいことはなにもない。強いて言えば、こんなわけのわからない文章を書いている時間が好きだったり、押し寄せる「負の感情」を必死に塞ぎ止めている自分が嫌いだったり、色々である。「羽でも生えたらおもしろいだろうに」とか空想している自分を見つめ、最終的にはなにを考えていたのかささわからなくなってしまう。そう、この物語を完結させるには今ひとつなかが足りない。そうか、じゃあ、それについて今からまた考えることにしよう。いつてきます。(就労支援センター利用者)

⑦ 忠誠心。これは口約束並みに軽い言葉だったりする。いやだって、歴史を振り返ってみればわかると思うが、あまりにも裏切り者が多すぎる。でも個人的な見解でいうのなら、それは悪いことだとは全く思わない。ただ単に忠誠すべき対象が変わっただけなのだ。人間という生き物が自分本位な動物である以上、自分以外のモノに忠誠してることがそもそもおかしい話だとは思わないか。忠誠心という言葉は目に見える世界だけに存在し、実はなんの役目も果たしていない。それはきつと、目に見えない世界の中に「服従」もしくは「尊敬」のどちらかが存在しているから成り立っているものだと思う。

⑥ ああ、つまり結局自分にはなにもわかっていないのだ。そんなスタートもゴールもわからない迷宮を彷徨っている。わからないことだらけの日々、考え続けても答えは全然わからない、なんだかんだいってもわからない、わかつたようでいてわからない、それはつまりなんにもわかっていないのだ。そんなこんなでだんだん眠くなってくる。そして、この矛盾が楽しかったりする。

⑤ ある女性がいる。彼女は彼のが好きなのだ。「男性」という目に映る真実、「恋」という目に見えない幻想、どちらの世界に入り込んでしまっているのかは誰も知らない。そして、そんなことを考えているうちにまた眠れない夜がやってくる。「光と闇」の感情はとも変な気分になる。まるで誰かが自分の大切な存在をそとと連れ去ってしまうようなそんな感覚。恋なんてしたことないからわからないけど、「失恋」とはこれに近い感情だったりして。

④ つまり、目に映る世界が本当だというのであれば、目に映らない世界も本当なのだ。人間は「真実」と幻想」の中で色々なものを錯覚して生きているのかもしれないとか考えれば不思議でしょうがない。

③ 視力が悪く乱視持ちの自分は、お酒を飲んで目がグルグルになった世界も普段から見えている世界もなんら違いはないから、どこから時間軸が変化したのかまるでわからない。

② 壁に掛かった絵がある。その壁に誰かが絵を掛けたこと、その絵が壁に掛けられていることはどちらも真実である。しかしその二つの事象は同時に行われていたりするから、どちらが先に行われたのかという答えは誰も知らなかったりする。

① 目に映るものが全てではないというが、では目に映らないものとは何であろうか。



大久保陽介



ほわほわ  
ほしほし

事業インフォメーションあれこれ  
ページ。(左の絵は兵庫県のK. T.  
さん作。メールでいただきました。)

## ▷本部事業 (職場参加ビューロー・世一緒よいしょ)

本部事業の拠点である「職場参加ビューロー・世一緒」は、専従職員がいません。月～金の10:00～16:00は、就労支援センターの利用者等の中から希望者を募り、職業体験の一環として、日替わりで電話番号掃除、来所者への説明、印刷・製本などの日常業務を担ってもらい、若干の謝金または実習手当を支給しています。

このほかにボランティアやアルバイトのサポーター、当事者ファシリテーターがいますが、いない時間もあります。世一緒に来所や電話をされる時は、お手数ですが、できるだけわかりやすい言葉で、短く、ゆっくりお話しいただければ幸いです。

### 世一緒スタッフのひとこと

大下徳仁

越谷市障害者就労支援センター松尾さんから、世一緒をしょうかいしてもらい、毎週水よう日だけの世一緒にいくようになりました。いろいろな活動に、参加をするようになりました。月曜日も、いくようになり、週二回いくようになっていっています。今は、とってもたのしくってしょうがないくらいです。

職場参加を語る会に、参加をしています。あとは、ピアサポート研究会にも参加をしています。みんなで、話しをしたり、仕事発見ミッションに、みんなででかけたりしています。今は、むねがいたいのも、あたまがいたいのもだんだんおちついてきました。今は、精神じょうたいも、すこしずつおちついていっています。ぼくにとっては、たのしくってしょうがないところなんです。毎週水は、センターかよもある日なので、大変ですが、世一緒にかよってくるのが、ほんとうは、りょうで、大変ですが、その日が、すごくたのしくってしょうがないくらいです。今は、せいしんじょうたいは、ふつうです。もっとよくなりますようにいのりたいおもいます。ぼくには、人とのコミュニケーションをじょうずにできないことが大きなやみです。世一緒のない日は、本をよんだりしたり、そうじをしたり、しています。国語じてんで、ことばのべんきようしたりも、します。あとは、心のノートとしてかいたりもしています。やなことたくさんあるけど、センターの松尾さんのところに行って、いろいろな話をきいてもらったりしているので、とってもうれしいです。今は、このちようして、いきたいです。このちようしをたもつことができればいいなとおもっています。

## 委託事業 (越谷市障害者就労支援センター)

越谷市障害者就労支援センターは職員の数が限られ、職場や関係機関へ訪問することも多いため、予めお電話をいただき、調整させていただければ、十分な時間をかけたお話ができます。特に下記のガイダンス、セミナーは事前に電話等でご連絡をお願いします。

ガイダンスでは、個別相談だけでは十分にお伝えしきれないセンターのさまざまな活用方法について、わかりやすくご説明します。そのときどきの旬の情報もお知らせします。

疑問・質問にもお答えしますので、何度でも

ご参加ください。4月8日(火)、5月15日(木)、6月27日(金)、7月29日(火) 10:00～12:00です。

セミナーは、毎月テーマを決めて、ワークショップ形式で行います。4月16日(水)、5月20日(火)、6月17日(火)、7月17日(木) 13:00～16:00です。



会場はいずれも原則、産業雇用支援センター4階です。

## 当会の目的

この法人は、地域の事業所、福祉施設、学校、在宅障害者と家族、市民に対して障害者の職場参加活動を啓蒙、普及、促進する事業を行い、障害者の多様な働きかたの実現をめざし、労働と福祉の障壁の解消を図るとともに、共に育ちあい、働きあい、暮らしあうまちづくりを通して、もって地域社会の発展に寄与することを目的とする。  
(定款第3条)

## 当会の事業

- ・特定非営利活動に係る事業  
職場参加の基盤形成のための支援事業
- ・福祉施設等の職場参加に関する協力関係の促進を図る事業
- ・障害者の就労・生活支援のための資料収集と情報提供に関する事業
- ・啓蒙と地域の輪を広げるための勉強会等を開催する事業
- ・国、自治体に対して施策を提言する事業
- ・協力事業所の開拓に関する事業 (定款第5条)

## 会員募集

障害者の職場参加をすすめる会では趣旨に御賛同いただける方を常時募集しています。

### 正会員

年会費 3,000円

### 賛助会員

個人年会費 3,000円

団体年会費 5,000円